

## 要約

### 表 題

J-10-050 の藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) に対する生長阻害試験

### 試験方法

- 1) 暴露方式 止水式、振とう培養 (約 100rpm)
- 2) 暴露期間 72 時間
- 3) 試験濃度 対照区, 81 倍希釈区, 27 倍希釈区, 9 倍希釈区, 3 倍希釈区, 飽和溶液区  
(設定値) 公比: 3
- 4) 試験液量 100 mL/容器
- 5) 連数 3 容器/試験濃度区, 6 容器/対照区
- 6) 初期細胞濃度  $1 \times 10^4$  cells/mL
- 7) 試験温度 23.1~23.3℃
- 8) 照明  $103 \sim 113 \mu\text{mol}/\text{m}^2\text{s}$  の連続照明
- 9) 分析法 細胞濃度: 粒子計数装置による計数法  
被験物質濃度: 高速液体クロマトグラフ法

### 結果

#### 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質は試験用水中で変化するため 23℃で 48 時間かく拌した溶液 (飽和溶液) にて試験実施した。ばく露期間中の試験液の被験物質測定濃度は、すべての濃度の幾何平均にて求めた。変化物 (J-10-055 および J-10-056) についても同様に求めた。

被験物質および変化物 J-10-056 は濃度測定時、すべて定量下限以下であった。被験物質および変化物 J-10-056 について定量限界の 1/2 の値から算出した濃度は、被験物質 0.295  $\mu\text{g}/\text{L}$ 、変化物 J-10-056 0.554  $\mu\text{g}/\text{L}$  であった。

#### 2) 72 時間 ErC50

変化物 (J-10-055) ErC50 (0-72h) :  $> 297 \mu\text{g}/\text{L}$  (95%信頼区間: 算出不可)

#### 3) NOECr (0-72h)

変化物 (J-10-055) NOECr (0-72h) :  $\geq 297 \mu\text{g}/\text{L}$